

防災クイズ(子ども向け) 全30問

Q1. 地震でゆれを感じたら、まず体のどこを守りますか？

- ① 頭
- ② 足
- ③ 手だけ

ヒント:いちばん大切で、守らないとあぶない場所。

答え:① 頭 地震ではまず頭を守る。

Q2. 火事を見つけたとき、電話でかける番号は？

- ① 117番
- ② 119番
- ③ 110番

ヒント:火を消す車をよぶ番号。「いちいちきゅう」。

答え:② 119番 火事を見つけたら119番。

Q3. 地震のとき、もぐって身を守るとよいのはどこ？

- ① 窓のそば
- ② 本だなの前
- ③ じょうぶな机(テーブル)の下

ヒント:上から物が落ちてこない、じょうぶな家具の下。

答え:③ じょうぶな机(テーブル)の下 地震では机の下にもぐる。

Q4. 火事でけむりが出ているとき、どんな姿勢でにげる？

- ① 体を低くする
- ② 高くジャンプする
- ③ その場でねる

ヒント:けむりは上にたまるから、体は…？

答え:① 体を低くする けむりからは体を低くしてにげる。

Q5. 危ないときに、みんなで安全な場所へ移動することを何という？

- ① おひるね
- ② 避難(ひなん)
- ③ おやつ

ヒント:危ない場所から「にげる」こと。

答え:② 避難(ひなん) 安全な場所へ移ることを避難という。

Q6. 避難の合言葉「お・は・し・も」の「お」の意味は？

- ① おしゃべりする
- ② おどる
- ③ 押さない

ヒント:ぶつかって転ばないように「○さない」。

答え:③ 押さない 「おはしも」の「お」は押さない。

Q7. 災害にそなえて、水や食べ物を入れて持ち出すふくろを何という？

- ① 非常持ち出し袋
- ② ランドセル
- ③ おもちゃ箱

ヒント:すぐ持って出られるよう、まとめておくふくろ。

答え:① 非常持ち出し袋 持ち出すふくろは非常持ち出し袋。

Q8. 大きな地震のあと、海の近くで気をつける、こわい波は？

- ① にじ
- ② 津波(つなみ)
- ③ しゃぼん玉

ヒント:地震のあと、海からおしよせる大きな波。

答え:② 津波(つなみ) 地震のあと海でこわいのは津波。

Q9. だろぼうなどの事件のとき、警察をよぶ電話番号は？

- ① 119番
- ② 117番
- ③ 110番

ヒント:おまわりさんをよぶ番号。「ひやくとおぼん」。

答え:③ 110番 事件のとき警察をよぶのは110番。

Q10. 地震のゆれがおさまるまで、机の下でどうするとよい？

- ① 机の脚をつかんでじっとする
- ② 外へ走り出す
- ③ 大声で歌う

ヒント:動かず、机の脚を「つかんで」。

答え:① 机の脚をつかんでじっとする ゆれの間は机の脚をつかんでじっと。

Q11. 避難の合言葉「お・は・し・も」の「は」の意味は？

- ① 早く食べる
- ② 走らない
- ③ 歯をみがく

ヒント:転ぶとあぶないから「〇らない」。

答え:② 走らない 「おはしも」の「は」は走らない。

Q12. 津波からにげるときは、どこへ向かう？

- ① 海の近く
- ② 低い土地
- ③ 高い場所

ヒント:海から遠く、なるべく「上」へ。

答え:③ 高い場所 津波からは高い場所へにげる。

Q13. 地震の「ゆれの大きさ」を、0から7で表すものを何という？

- ① 震度(しんど)
- ② 気温
- ③ 時速

ヒント:ゆれの強さ。「〇ど7」が最大です。

答え:① 震度(しんど) ゆれの大きさを0~7で表すのは震度。

Q14. 災害のとき、地域の人がいったん集まる安全な場所を何という？

- ① 遊園地
- ② 避難所(ひなんじょ)
- ③ プール

ヒント:みんなが「集まる所」。学校が使われることも。

答え:② 避難所(ひなんじょ) みんなが集まる安全な場所は避難所。

Q15. 非常持ち出し袋に入れておくと、停電のときに役立つものは？

- ① まくら
- ② むいぐるみだけ
- ③ 懐中電灯(かいちゅうでんとう)

ヒント:暗やみを照らす、持ち運べる明かり。

答え:③ 懐中電灯(かいちゅうでんとう) 停電に役立つのは懐中電灯。

Q16. 地震で家具が倒れてこないように、ふだんからしておくといことは？

- ① 家具を壁に固定する
- ② 家具をふやす
- ③ 家具をみがく

ヒント:倒れてこないよう、壁に「とめる」。

答え:① 家具を壁に固定する 家具は壁に固定しておく。

Q17. 大きな地震が来る少し前に、テレビやスマホで知らせてくれるものは？

- ① 天気予報だけ
- ② 緊急地震速報
- ③ うらない

ヒント:「まもなく地震です」と知らせてくれるもの。

答え:② 緊急地震速報 地震直前に知らせるのは緊急地震速報。

Q18. 自分の住む町の、洪水や津波などの危険がわかる地図を何という？

- ① たからの地図
- ② メニュー表
- ③ ハザードマップ

ヒント:「危ない所」がわかる町の地図。

答え:③ ハザードマップ 危険がわかる地図はハザードマップ。

Q19. 災害にそなえて、家族で前もって決めておくといことは?

- ① 集まる場所や連絡の方法
- ② おやつの順番
- ③ ゲームの時間

ヒント:はぐれたとき、どこに集まる? どう連絡する?

答え:① 集まる場所や連絡の方法 家族で集合場所と連絡方法を定める。

Q20. 9月1日は、災害にそなえる大切な日。何の日?

- ① こどもの日
- ② 防災の日
- ③ 海の日

ヒント:9月1日。「ぼう〇〇の日」。

答え:② 防災の日 9月1日は防災の日。

Q21. 「防災の日」が9月1日なのは、1923年のある大災害がきっかけ。その災害は?

- ① 東日本大震災
- ② 阪神・淡路大震災
- ③ 関東大震災

ヒント:1923年9月1日に起きた、関東の大地震。

答え:③ 関東大震災 防災の日のきっかけは関東大震災。

Q22. 地震の「規模(エネルギーの大きさ)」を表すことばは?

- ① マグニチュード
- ② カロリー
- ③ メートル

ヒント:地震そのものの大きさ。「M(エム)」で表します。

答え:① マグニチュード 地震の規模を表すのはマグニチュード。

Q23. 非常用の飲み水は、1人1日およそ何リットルが目安?

- ① 約0.1リットル
- ② 約3リットル
- ③ 約30リットル

ヒント:1人1日、ペットボトル数本ぶんくらい。

答え:② 約3リットル 飲み水は1人1日約3リットルが目安。

Q24. 災害のとき、自分や家族で自分たちの身を守ることを何という?

- ① 人まかせ
- ② おやすみ
- ③ 自助(じじょ)

ヒント:まず「自分」で自分を守ること。

答え:③ 自助(じじょ) 自分で身を守ることを自助という。

Q25. 大きな地震(本震)のあとに、続いて起こる地震を何という?

- ① 余震(よしん)
- ② かみなり
- ③ つむじ風

ヒント:本震のあとに、くり返しくる地震。

答え:① 余震(よしん) 本震のあとに続く地震は余震。

Q26. 停電のときでも情報を聞ける、電池や手回しで動く道具は?

- ① エアコン
- ② ラジオ
- ③ 冷蔵庫

ヒント:電池や手回しで動く、音の出る情報の道具。

答え:② ラジオ 停電でも情報を聞けるのはラジオ。

Q27. かみなりが鳴っているとき、いちばん安全なのはどこ?

- ① 木の下
- ② 広場の真ん中
- ③ 建物や車の中

ヒント:高い木の下はあぶない。中に入れる「〇〇」へ。

答え:③ 建物や車の中 かみなりは建物や車の中が安全。

Q28. 災害にそなえて、水や食べ物は「最低でも何日分」たくわえるとよい?

- ① 3日分(できれば1週間)
- ② 1時間分
- ③ 1年分

ヒント:数日ぶん。「〇日分」できれば1週間。

答え:① 3日分(できれば1週間) 備蓄は最低3日分(できれば1週間)。

Q29. 地震のとき、エレベーターに乗っていたらどうする?

- ① そのまま乗り続ける
- ② すべての階のボタンを押して、止まった階で降りる
- ③ とびはねる

ヒント:全部の階のボタンを押して、止まったらおりる。

答え:② すべての階のボタンを押して、止まった階で降りる 地震時のエレベーターは全階押して降りる。

Q30. 災害のとき、近所の人どうしが助け合うことを何という?

- ① きょうそう
- ② ひとりじめ
- ③ 共助(きょうじょ)

ヒント:近所の人と「ともに助ける」こと。

答え:③ 共助(きょうじょ) 近所で助け合うことを共助という。